

(6)

【0036】応答があった場合（判断119のYes）は、装置設定情報を受信する（処理122）。この装置設定情報は、前述したように、ROM12に格納された、図3に示すテーブルに基づくものである。

【0037】そしてスキャナ部15にセットされた原稿の画像を読み込み（処理123）、画像処理符号化部16で、処理122で設定した装置設定情報に適合する解像度・階調数の画像データに変換した画像データを、ホスト1/F19を介してホストコンピュータ2に送信する（処理124）。

【0038】なお、以上説明した手順においては、操作コードを「FAX」または「コピー」のいずれかに設定するために、FAXキー18bの押下や、コピーキー18cの押下を判断することによる、明示的な方法も可能である。しかし、本実施の形態では、ユーザー操作を簡略化するために、原稿セット後に最初に押下されたキーがテンキー18dであれば、それは、宛先番号を入力していることを示し、宛先番号が関係するのは、フアクシミリ送信であり、原稿セット後に最初に押下されたキーがテンキー18eであれば、それは、宛先番号が関係しない、コピー動作であると判断できることが着目し、原稿セット後に最初に押下されたキーがテンキー18dであれば、操作コードは「FAX」であり、スターキー18eであれば「コピー」であると自動認識して、ホストコンピュータ2に送信している。

【0039】次に、ホストコンピュータ2における動作手順について、図6を参照して説明する。

【0040】ホストコンピュータ2においては、画像入力装置1のホスト1/F19と接続されている入力ポートを監視するプログラムがバックグラウンドで起動している、入力ポートに操作コードが受信するのを監視する（判断201のNo）。この判断は、図4に示した処理107または図5に示した処理118に対応する判断である。

【0041】入力ポートに操作コードが受信すると（判断201のYes）、その操作コードが「コピー」であるか（「FAX」であるか）を判断し（判断202）、「FAX」である場合（判断202のNo）は、宛先番号を受信し（処理203）、操作設定情報を受信する（処理204）。なお、処理203は、図4に示した処理108に対応し、処理204は、同じく処理112に対応している。

【0042】そして、処理204で受信した装置設定情報に示した解像度・階調数、階調変換処理、圧縮動作等を行いつつ、16ビットの階調分解能（階調数2）の画像データとして画像入力装置1から送信される画像データを受信して（処理205、判断205のNo）、ハードディスク装置へ記憶する。これらの処理、判断は、図4に示した処理114に対応している。

【0043】画像データの受信が終了すると（判断20

(6)

6のYes）、送信画像をフアクシミリ送信に適合するように処理し（判断207）、モデム4を制御して処理203で受信した宛先番号に宛呼して（処理208）、モデム4経由で当該宛先に画像を送信する（処理209）。そして、判断202に戻る。

【0044】判断202において、操作コードが「コピー」である場合（判断202のYes）は、操作設定情報を受信する（処理210）。なお、この処理210は、図5に示した処理122に対応している。

【0045】そして、処理210で受信した装置設定情報に示した解像度・階調数、階調変換処理、圧縮動作等を行いつつ、16ビットの階調分解能（階調数2）の画像データとして画像入力装置1から送信される画像データを受信して（処理211、判断212のNo）、ハードディスク装置へ記憶する。これらの処理、判断は、図5に示した処理124に対応している。

【0046】画像データの受信が終了すると（判断212のYes）、出力画像を画像出力装置3に適合するように処理し（判断213）、画像出力装置に処理した画像データを渡してプリント出力する（処理214）。そして、判断201に戻る。

【0047】このように、ホストコンピュータ2側では、画像入力装置1から転送された画像データをいかに処理すべきかを、ユーザーに指定してもらうまでもなく、その転送された画像データの付帯情報として通知する、操作コードや、宛先番号、装置設定情報により、自動的に判断できる。したがって、従来のように、ユーザーが画像入力装置1で原稿画像を読み取らせる操作をしてから、さらにホストコンピュータ2を操作して、画像入力装置1で読み取った画像データをフアクシミリ送信するかコピーするか等の処理目的を指定する必要がなく、操作が煩わしくなく簡単になる。

【0048】なお、以上説明した実施の形態においては、画像入力装置1は、文字通り画像入力機能のみを備えたものであったが、本発明は、それに限らず、プリンタとスキャナが一体となった装置等においても同様に実現可能なものである。また、画像入力装置1内で指定する操作コードとしては「FAX」、「コピー」に限らず、ホストコンピュータ2に転送した画像データをフアクシミリ送信することを指定するための「フアクシミリ」等、その他の要求処理内容に対応した操作コードの指定も可能である。

【0049】

【発明の効果】請求項1に係る発明によれば、前記コンピュータ装置に転送された画像データに対する要求処理内容を入力する要求処理内容入力手段と、その入力された要求処理内容、前記コンピュータ装置に転送された画像データの付帯情報として前記コンピュータ装置に通知する要求処理内容通知手段とを備えたため、前記コンピュータ装置における入力操作なしに、読み取った画像デ

(6)

ータに対するユーザーの処理目的を前記コンピュータ装置が知ることで、ユーザーにとっては、前記コンピュータ装置を操作して処理目的を入力する必要がなく、操作性が著しく向上する。

【0050】請求項2に係る発明によれば、前記要求処理内容入力手段から入力された要求処理内容に応じた画像解像度または/及び階調分解能を選択する処理パラメータ選択手段を備え、前記要求処理内容通知手段は、前記要求処理内容入力手段から入力された要求処理内容と併せて前記処理パラメータ選択手段が選択した画像解像度または/及び階調分解能を前記コンピュータ装置に通知するため、ユーザーが意図する画像データの処理目的に応じて適当な画像解像度と階調分解能を前記コンピュータ装置に通知することができ、したがって、前記コンピュータ装置は、画像データの読み込み及び転送において適切な処理パラメータを判断できるため、読み込み・転送における必要以上の画像データ処理負担を軽減でき、無駄な処理時間を省くことができる。

【0051】請求項3に係る発明によれば、少なくともテンキーを含む送信番号入力手段と、画像データ読み取り時における最初の入力操作が前記テンキーからの1ないし9の数字の入力操作である場合には、前記コンピュータ装置に転送された画像データに対する要求処理内容を「フアクシミリ送信」と認識する認識手段とを更に備え、前記要求処理内容通知手段は、前記要求処理内容入力手段から入力された、または、前記認識手段により認識された要求処理内容を、前記コンピュータ装置に転送する画像データの付帯情報として前記コンピュータ装置に通知するため、ユーザーがフアクシミリ送信を意図して送信先電話（フアクシミリ）番号をテンキーで入力すれば、読み取った画像データに対するユーザーの処理目的がフアクシミリ送信であることを前記コンピュータ装置が自動的に知ることができ、したがって、ユーザーは、前記コンピュータ装置を操作して、読み取った画像データに対する処理目的を入力する必要がなければ、前記要求処理内容として「フアクシミリ送信」を指定するために、例えばFAX送信キー等を操作する必

【図3】

操作コード	画像解像度 (dpi)		階調数
	16ビット	8ビット	
コピー	400	400	84
FAX	200	200	2

10

要がなく、操作性がいっそう向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る画像入力装置が接続されたホストコンピュータを含むシステム構成を示す図である。

【図2】本発明の実施の形態に係る画像入力装置のブロック構成を示す図である。

【図3】操作コードに対応する画像解像度と階調数の設定内容のテーブルを示す図である。

【図4】本発明の実施の形態に係る画像入力装置における動作手順を示すフローチャートである。

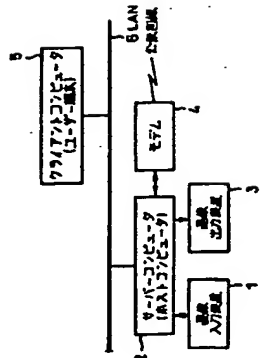
【図5】本発明の実施の形態に係る画像入力装置が接続されるホストコンピュータにおける動作手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 画像入力装置
- 2 サーバコンピュータ（ホストコンピュータ）
- 3 画像出力装置
- 4 モデム
- 5 クライアントコンピュータ（ユーザー端末）
- 6 ローカルエリアネットワーク
- 11 システム制御部
- 12 ROM
- 13 RAM
- 14 スキャナ制御部
- 15 スキャナ部
- 16 画像処理符号化部
- 17 操作制御部
- 18 操作部
- 18a コピーキー
- 18b FAXキー
- 18c スタートキー
- 18d テンキー
- 18e その他のキー
- 19 ホスト1/F

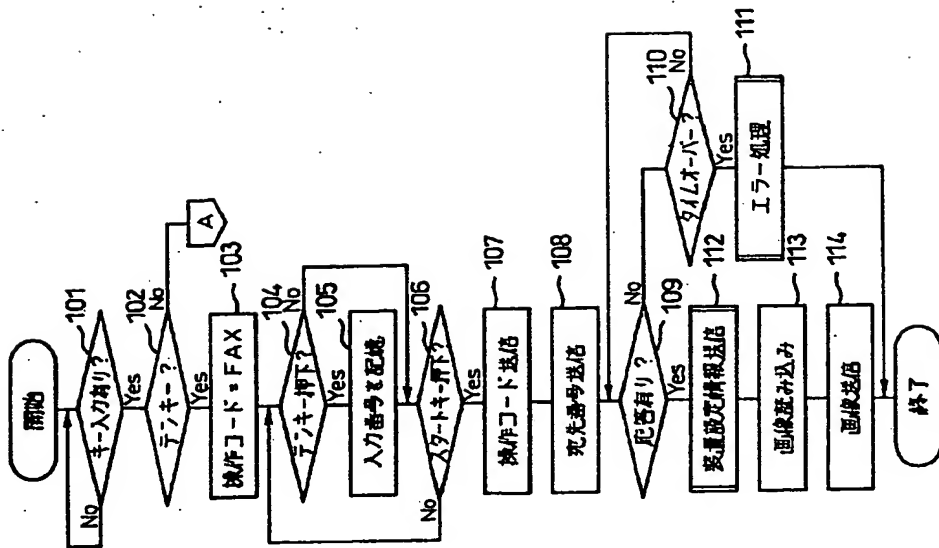
(7)

【図1】

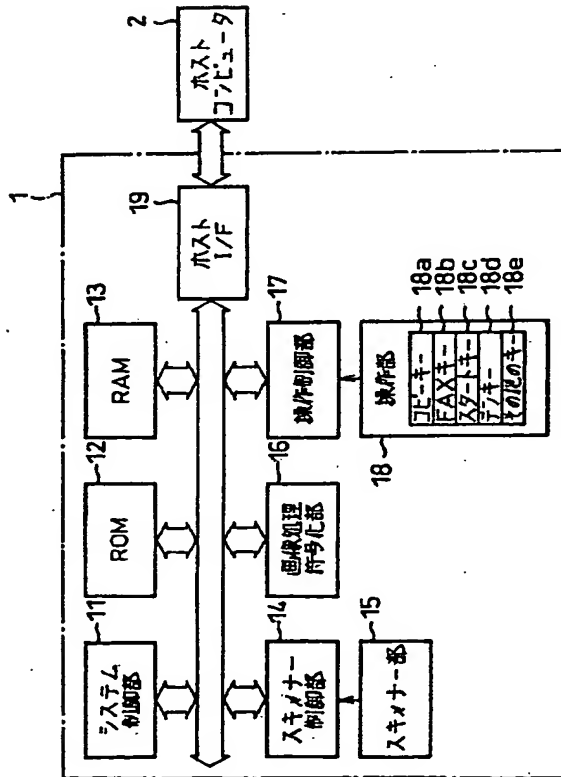


(8)

【図4】

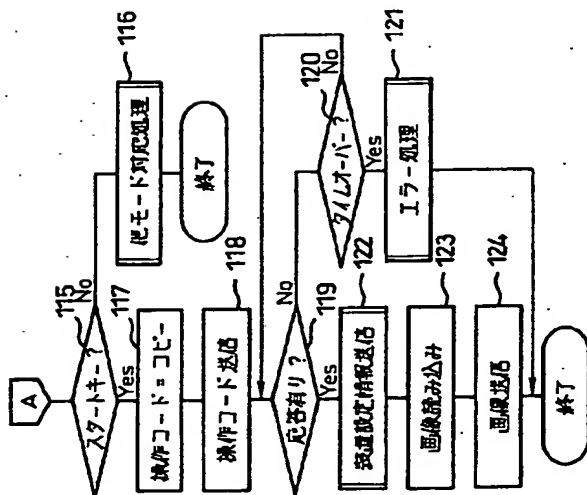


【図2】



(9)

【図6】



(10)

【図6】

